

第5章

都市づくりの推進に向けて

- 1** 基本的な考え方
- 2** 推進方策
 - (1) 連携・協働による都市づくり
 - (2) 効果的・効率的な都市づくり
 - (3) 実効性の高い都市づくり
- 3** 都市づくりの評価

1 基本的な考え方

本市の都市づくりにあたっては、「第5次越谷市総合振興計画」で掲げられた将来像『水と緑と太陽に恵まれた みんなが活躍する安全・安心・共生都市』の実現に向けて、様々な分野との相互連携を図りながら、多様な施策・事業を展開し進めていくこととなります。

本計画は、第2章「目指す都市の姿」において都市の将来像として掲げた「人と環境にやさしい暮らしやすい都市」と「活力とにぎわいに満ちた魅力あふれる都市」を目指し、第3章「都市づくりの方針」や第4章「地区づくりの方針」を実現していくために、以下に示す3つの基本的な考え方を念頭におきながら推進していきます。

また、本市が目指す都市の将来像に向けた都市づくりを評価するため、評価指標を設定し、都市づくりの効果を定量的に評価します。

1 連携・協働による都市づくり

■市民、事業者、行政など、多様な主体との連携・協働を図りながら、地域が参画した都市づくりの取組を進めます。

- ①多様な主体との連携・協働
- ②地域が参画した都市づくり

2 効果的・効率的な都市づくり

■質の高い市民サービスの推進や新たな魅力の創出を図るため、推進体制の充実や、民間の能力の活用*を図るとともに、様々な都市づくりの手法を活用しながら、効果的・効率的な都市づくりの取組を進めます。

- ①推進体制の充実
- ②民間の能力の活用*
- ③都市づくり手法の活用

3 実効性の高い都市づくり

■PDCAサイクルの考え方に基づき、施策・事業の進捗状況を継続的に把握しながら、適正な計画の進行管理と柔軟な見直しによる、実効性の高い都市づくりの取組を進めます。

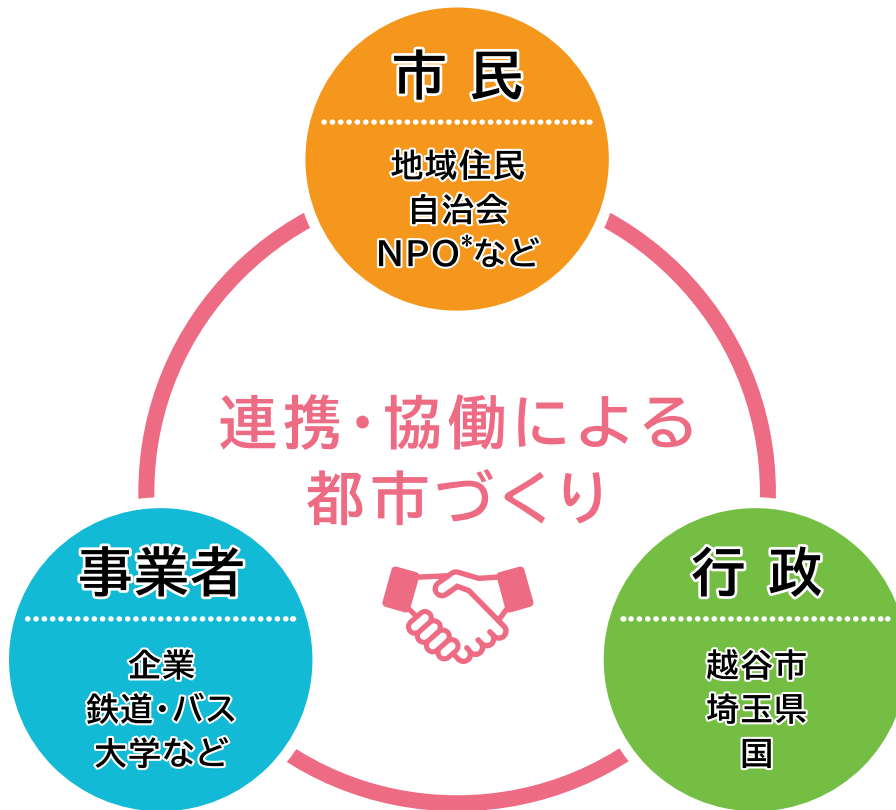
- ①適正な進行管理
- ②計画の柔軟な見直し

2 推進方策

(1) 連携・協働による都市づくり

① 多様な主体との連携・協働

- ・都市づくりに向けては、人口減少や少子高齢化など、社会経済情勢の変化や多様化する市民の価値観やニーズに対応していく必要があります。
- ・このため、市民、事業者、行政などの多様な主体による参加や協働、情報共有を図り、それぞれの立場や役割を活かした、連携・協働による取組を推進します。



市民の 役割

- ☑ コミュニティの交流
- ☑ 地域の課題解決や魅力向上への協力
- ☑ 都市づくりへの参加

事業者の 役割

- ☑ 専門性を活かした都市づくりへの協力
- ☑ 方針を踏まえた建築・開発行為
- ☑ 社会貢献の展開

行政の 役割

- ☑ 各種計画や事業の決定・変更・推進
- ☑ 連携・協働のための情報・機会の提供
- ☑ 地域の体制づくりへの支援
- ☑ 国・埼玉県・他自治体との連携・協働

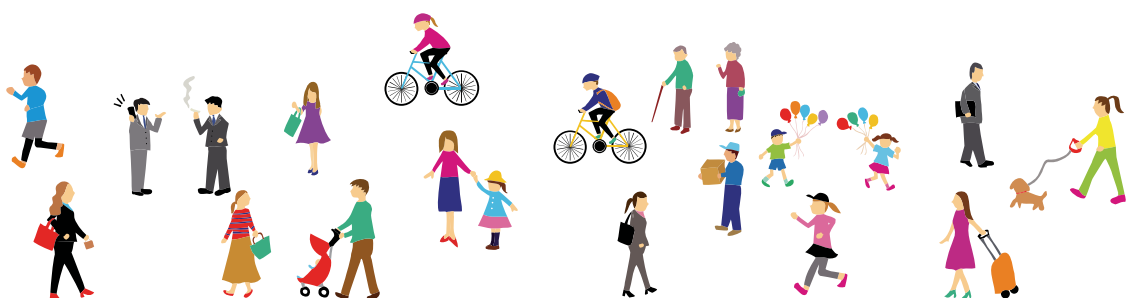
②地域が参画した都市づくり

- ・自治会や地区コミュニティ推進協議会*をはじめ、地域に根ざした組織による防犯活動や美化活動など、地区の魅力向上や地区の諸課題の解決に向けた活動を支援していきます。
- ・エリアマネジメント*のような地域に密着した市民や事業者による主体的な活動を促進し、地域における課題解決や良好な居住環境や魅力の維持・向上に向け、地域が参画した都市づくりを推進します。

■地域が参画した都市づくりのイメージ



目指す都市の実現へ



(2) 効果的・効率的な都市づくり

① 推進体制の充実

- ・本計画で掲げる施策・事業は多岐にわたるため、都市計画分野以外の部門との連携が必要となります。その実現にあたっては、庁内の部門間を超えたプロジェクトチームの設置など、横断的な組織体制の構築や情報共有を図ります。
- ・長期的な視点の下で継続的かつ効果的に施策・事業を進めていくために、国・埼玉県補助制度等の活用による財源の確保や、近隣市町などの関係機関との連携・協働や協力体制の強化に努めます。



② 民間の能力の活用*

- ・多様化する市民ニーズへの対応や都市経営の効率化が求められており、民間の能力の活用*による新たな公共サービスの提供や民間の活動や投資、施設等の誘導など、官民の連携・協働による都市づくりを推進し、質の高い市民サービスの提供に努めます。

③ 都市づくり手法の活用

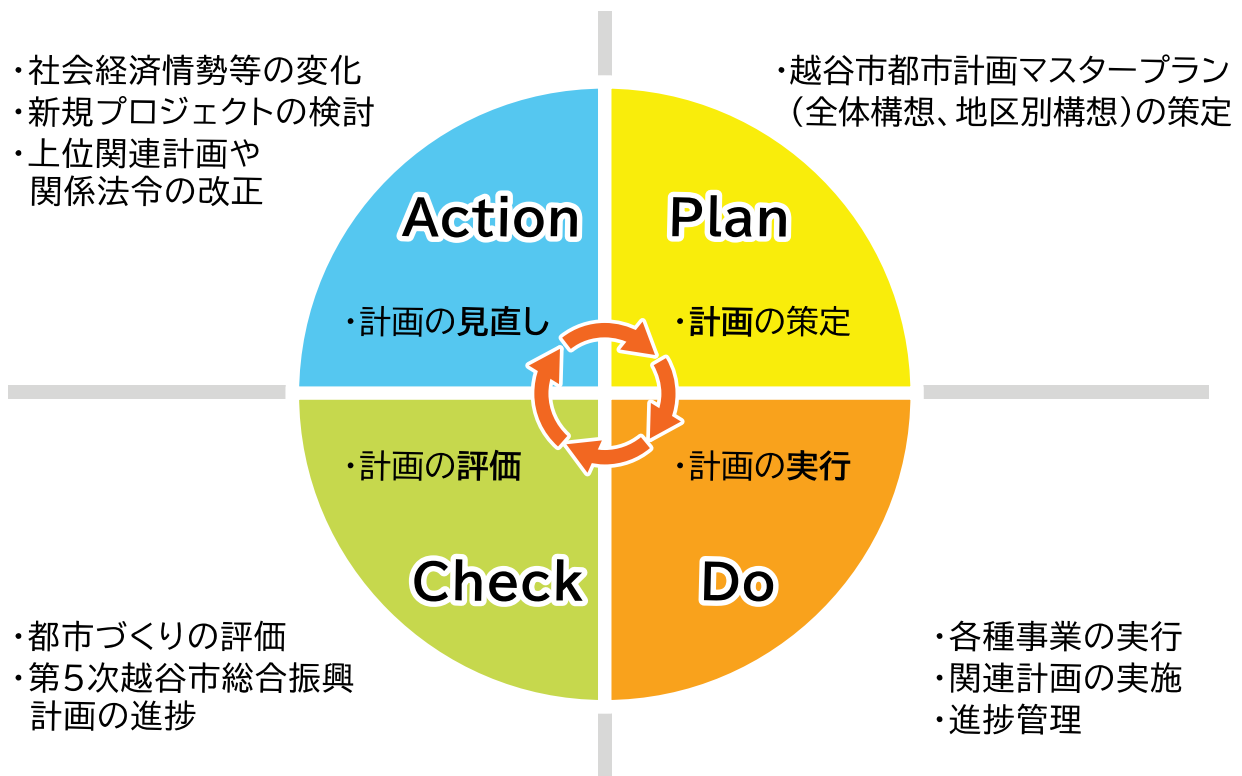
- ・都市計画法等の規制・誘導をはじめ、土地区画整理事業*や道路・公園等の各種事業の実施など、関係法令に基づく様々な制度・手法を適正に活用しながら、効果的・効率的な都市づくりを進めます。
- ・地区計画*や景観協定*、都市計画提案制度*など、市民や事業者など多様な主体が関わり検討・展開可能な制度・手法を活用しながら、日ごろからのコミュニティ活動や事業活動を通じた様々な取組と組み合わせた総合的な都市づくりを進めます。

(3) 実効性の高い都市づくり

① 適正な進行管理

- ・本計画は、20年後の都市の姿を展望しつつ、概ね10年間の都市づくりの基本的な考え方を示すものです。そのため、本計画に基づいて各施策・事業の進捗状況を把握しながら、適正な進行管理により実効性の高い都市づくりを推進します。
- ・計画全体の進行管理については、計画(Plan)を実行(Do)に移し、その効果・成果を評価(Check)しながら、必要に応じて見直し(Action)を講じる「PDCAサイクル」に基づき、計画の継続的な改善に取り組みます。
- ・個別施策・事業の進行管理については、引き続き、関係各課との連携を図りながら、定期的な進捗状況の確認を行います。

■ PDCAサイクルによる進行管理



② 計画の柔軟な見直し

- ・本計画は長期的な視点に立った計画となることから、本市を取り巻く社会経済情勢や市民ニーズの変化、本市の新たなプロジェクトの検討、都市づくりに関わる上位計画や関係法令の改正に伴う見直しなど、PDCAサイクルの中で状況に応じた柔軟な見直しを行います。

3 都市づくりの評価

PDCAサイクルによる計画の進行管理にあたり、「評価(Check)」を行うための評価指標については、2つの都市の将来像に関連する施策の評価指標を設定し、都市づくりの効果を定量的に評価します。

都市の将来像① 人と環境にやさしい 暮らしやすい都市

都市機能の集積、交通などのネットワークの充実、生活利便性の確保・向上、水と緑の保全・活用、人と自然との共生、災害に強い都市づくりの観点から評価指標を設定します。

[関連するSDGs*のゴール]



都市の将来像② 活力とにぎわいに満ちた 魅力あふれる都市

にぎわいと交流を創出する拠点形成、都市の魅力向上、経済活性化、地域特性の活用、新たな産業・観光資源の創出、活気のある都市づくりの観点から評価指標を設定します。

[関連するSDGs*のゴール]



評価指標	現況値 (2019年)	目標値 (2030年)		目標とする都市の状況
定住意向の高まり	77.0%	83.0%		“越谷市に住み続けたい、住んでよかった”と感じる市民が増加しています。
〔説明〕市政世論調査における定住意向				
公共交通の満足度	66.0%	74.0%		利便性の高い公共交通網が形成されています。
〔説明〕市政世論調査における市民の公共交通(鉄道・バス・タクシー等)に対する満足度				
空き家等是正件数	177件	287件		危険な空き家等が減少し、安心して暮らすことができる居住環境が形成されています。
〔説明〕相談を受けて是正した空き家等の件数				
都市計画道路の完成率	64.6%	67.0%		都市を円滑に移動できる道路網の整備が進んでいます。
〔説明〕都市計画道路の計画延長に対する完成延長				
道路施設等の改修率	80.0%	90.6%		だれもが安全・安心に利用できる道路環境が整っています。
〔説明〕道路施設(道路照明灯・道路反射鏡等)のうち、老朽化等の改修が完了した割合				
緑道整備進捗率	59.4%	78.1%		水と緑を活かした憩いと安らぎを感じられる都市環境の整備が進んでいます。
〔説明〕整備済延長(m)／計画延長(m)				
公園の維持管理を担う市民団体数	72団体	105団体		市民との連携・協働による公園の維持管理活動が活発に行われています。
〔説明〕生活に身近な公園の維持管理を担う市民団体数				
市の事業・支援による太陽光発電設備の発電容量	累計 7,423kW	累計 11,000kW		環境負荷を低減する再生可能エネルギー*の活用が図られています。
〔説明〕公共施設や市の補助を受けて設置した住宅用の設備による発電容量				
合併処理浄化槽*普及率	36.0%	50.0%		河川等の水質の維持・回復が図られています。
〔説明〕全浄化槽(単独処理浄化槽+合併処理浄化槽*)に対する合併処理浄化槽*の割合				
雨水流出抑制対策率	94.0%	100.0%		水害に備えて河川整備と併せた治水対策が進んでいます。
〔説明〕計画対策量(42,000t)に対する雨水流出抑制対策率				
総合治水対策*(ソフト対策)の実施率	—	100.0%		河川氾濫などに対する防災意識が醸成されています。
〔説明〕まるとまちごとハザードマップ設置に対する実施率				
自主防災組織のカバー率	90.7%	94.0%		安全・安心な都市づくりを支える住民主体の自主防災組織が増加しています。
〔説明〕総世帯数のうち、自主防災組織が組織されている地域の世帯数の割合				

※現況値(2019年)の「—」は、新たな評価指標のため「—」と表記しています。

評価指標	現況値 (2019年)	目標値 (2030年)		目標とする都市の状況
市民の愛着度	73.9%	80.0%		越谷市に愛着を持って居住する市民が増えています。
〔説明〕市政世論調査において越谷市に愛着があると回答した割合				
景観の満足度	66.7%	74.0%		良好な景観が形成されています。
〔説明〕市政世論調査における市民の景観まちづくりに対する満足度				
市街化区域内の人口密度	100人/ha以上	100人/ha以上		都市機能と人口密度が維持・充実した質の高い市街地が形成されています。
〔説明〕市街化区域内の人口密度				
地価(平均)	[住宅地] 132,806円/㎡ [商業地] 205,000円/㎡	[住宅地] 133,000円/㎡以上 [商業地] 205,000円/㎡以上		多様な施策展開に伴う魅力向上により本市の地価が上昇しています。
〔説明〕住宅地、商業地における標準地の平均地価公示				
農地利用集積*地域数	4地域	6地域		集積・集約化により営農環境の改善が進んでいます。
〔説明〕農地の保全・有効活用を目的として実施した農地利用の集積・集約化が行われた地域数				
企業立地相談件数	—	40件		本市に興味を持つ企業が増え都市の活性化が伺えます。
〔説明〕市内・市外からの企業立地に関する問合せ件数				
空き店舗活用数	—	30件		空き店舗の利用により、商店街の活性化とにぎわいを醸成しています。
〔説明〕商店街内の空き店舗が活用された件数				
年間商品販売額	8,224億円	8,230億円以上		商業の持続的な発展が図られます。
〔説明〕商業統計調査、経済構造実態調査、経済センサス活動調査等による統計				
年間製造品出荷額	2,258億円	2,260億円以上		工業の持続的な発展が図られます。
〔説明〕工業統計調査、経済センサス活動調査等による統計				
市内鉄道駅の乗車人員の推移	277,917人	278,000人以上		市民活動の活性化や市外からの来訪者が増えています。
〔説明〕市内8駅の1日平均乗車人員の合計				
観光入込客数*	6,045万4,140人	6,300万人		都市の魅力向上により、観光客が増加しています。
〔説明〕市内の観光スポットや観光イベント等に訪れた人の数(年間)				
市内観光農園の来園者数	9万3,185人	12万8,000人		農業と連携した観光振興が進んでいます。
〔説明〕市内12箇所の観光農園の来園者数				

※現況値(2019年)の「—」は、新たな評価指標のため「—」と表記しています。

